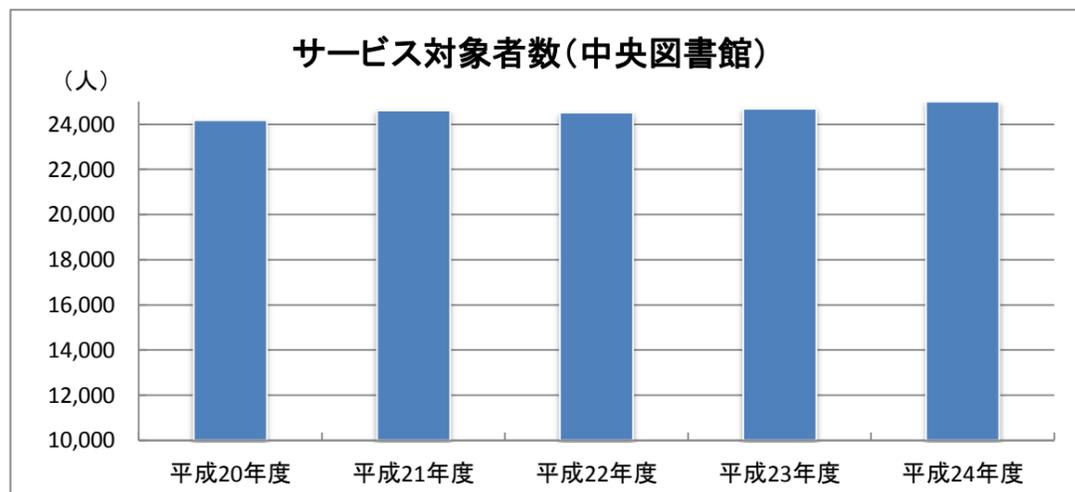


中央図書館利用状況

○ サービス対象者(中央図書館)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
サービス対象者数	24,172	24,616	24,520	24,693	25,009

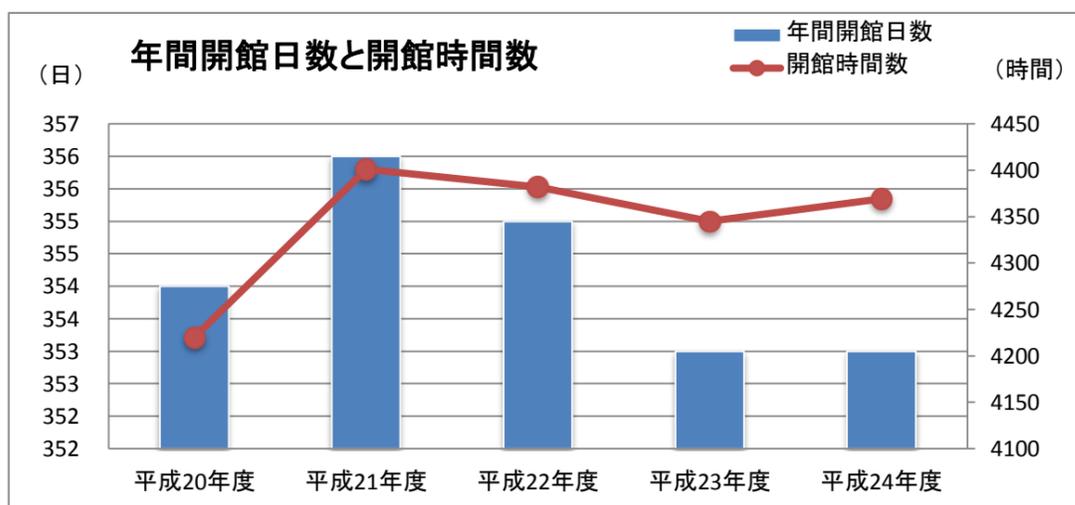


備 考

サービス対象者には、非常勤教員、非常勤職員もデータに含む。

○ 閲覧業務(中央図書館)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
年間開館日数	354	356	355	353	353
開館時間数	4,220	4,401	4,382	4,345	4,369
年間入館者数(人)	710,463	763,326	853,777	837,072	822,049
館外貸出冊数(冊)	135,930	137,372	135,889	130,220	140,493



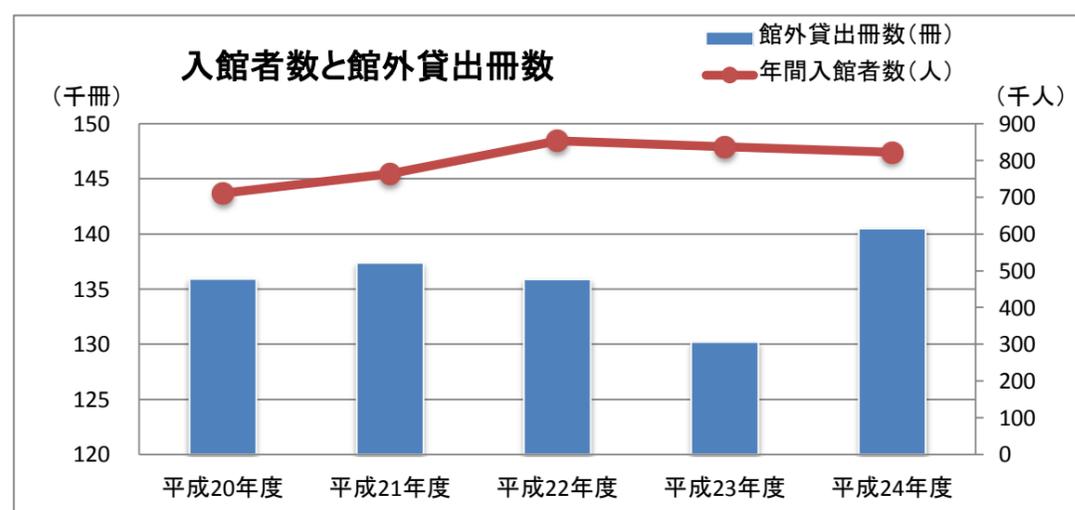
備 考

平成21年4月から、早朝開館(8時)を開始した。

平成19年12月から、月一度の書架整理のための休館日を廃止した。

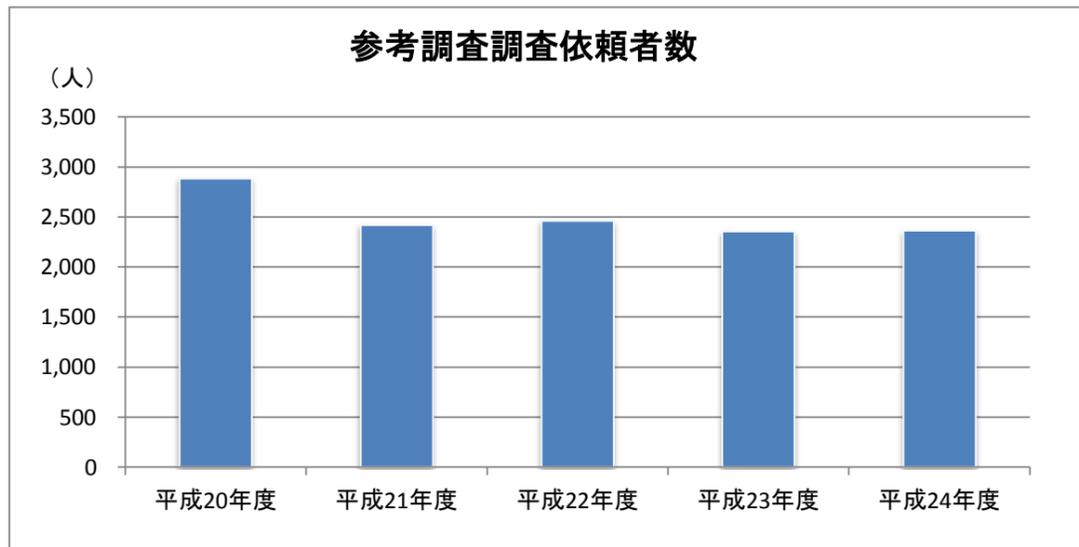
平成18年度から、夏季休暇一斉取得時(8月中旬)も開館している。

平成24年度はLED照明器具取替工事のため6月2日(土)・3日(日)に臨時休館した。また、5月7日～6月21日まで2階・3階が一部立入禁止となった。

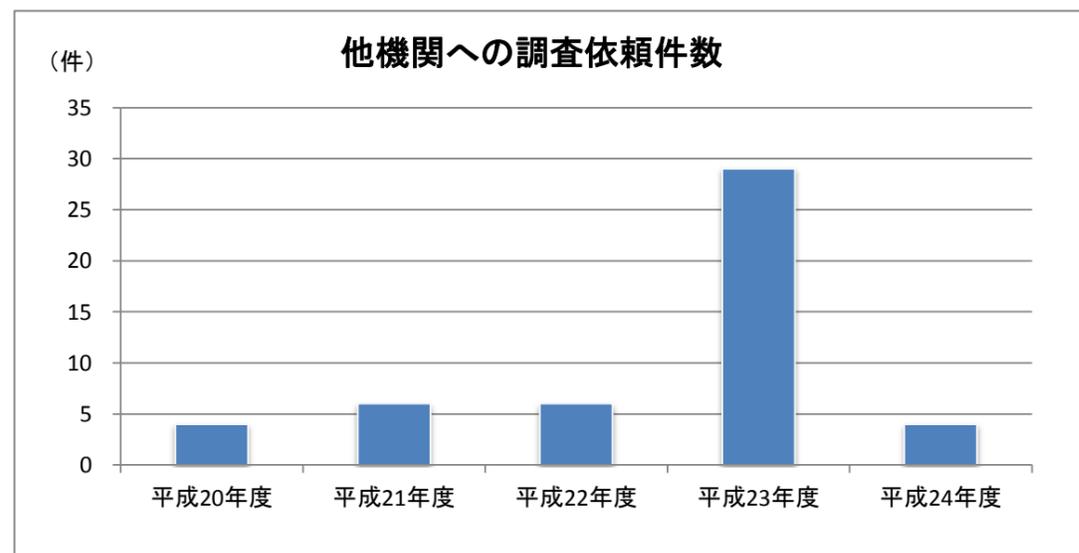


○ 参考調査業務(中央図書館)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
調査依頼者数(人)	2,882	2,421	2,461	2,355	2,362
他機関への調査依頼(件)	4	6	6	29	4

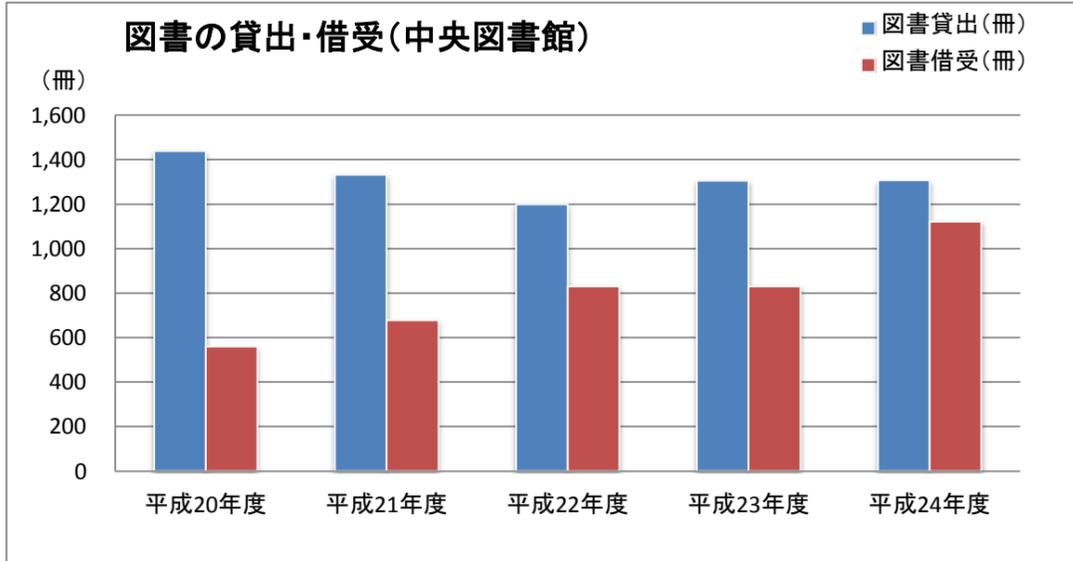


備考
平成24年度依頼者数(来館者)は、学内者1,984人、学外者378人。延取扱件数2,947件(電話、E-mail、Faxを含む)

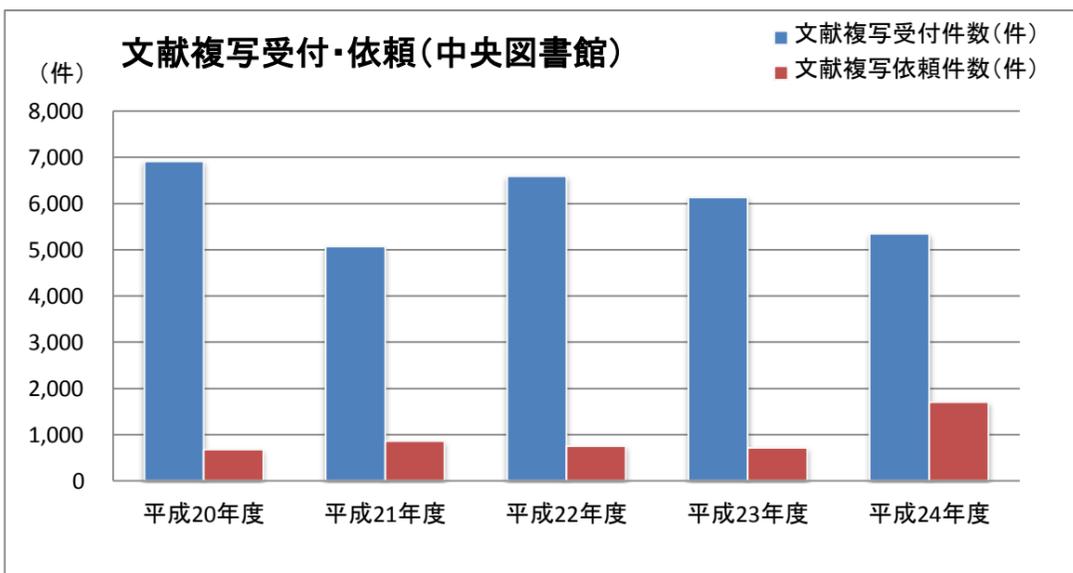


○ 他機関との相互利用業務(中央図書館)

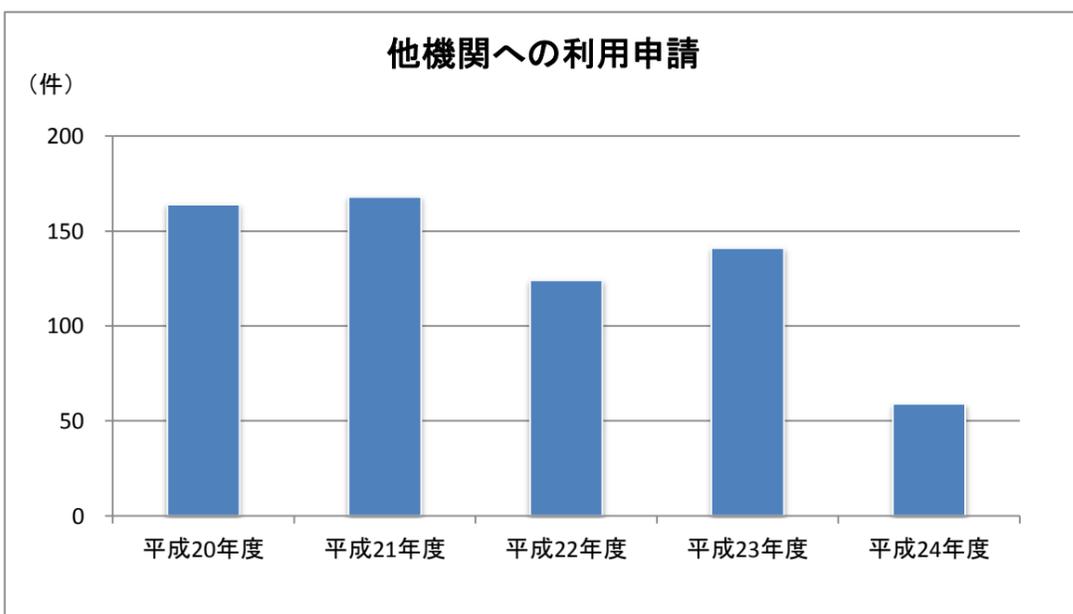
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
図書貸出(冊)	1,439	1,333	1,200	1,306	1,307
図書借受(冊)	560	678	831	831	1,121
文献複写受付件数	6,914	5,071	6,592	6,138	5,348
文献複写依頼件数	678	859	754	718	1,701
他機関への利用申請(件)	164	168	124	141	59



備考
H24年度の借受件数の増加は、申込者の費用負担を軽減するサービスの試行によるもの。

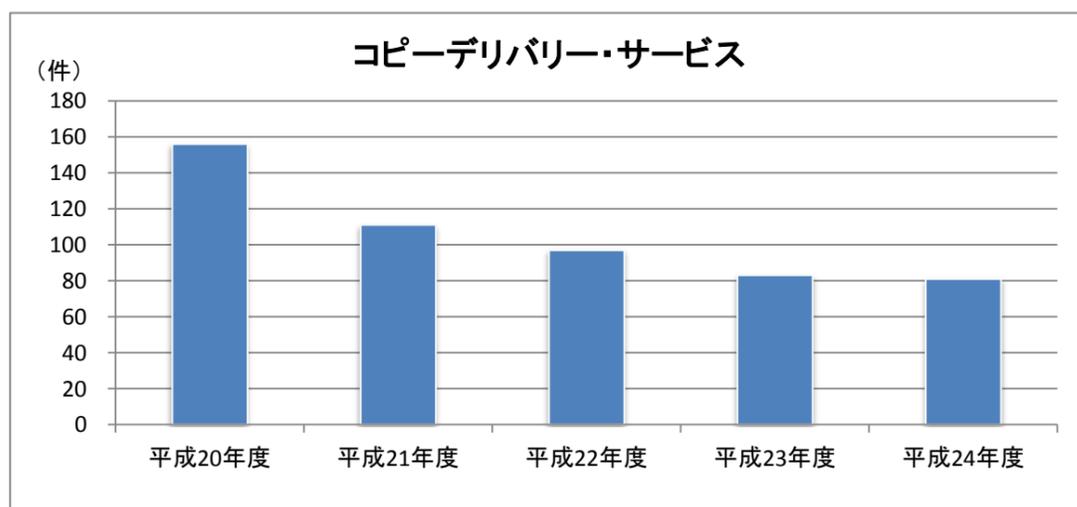
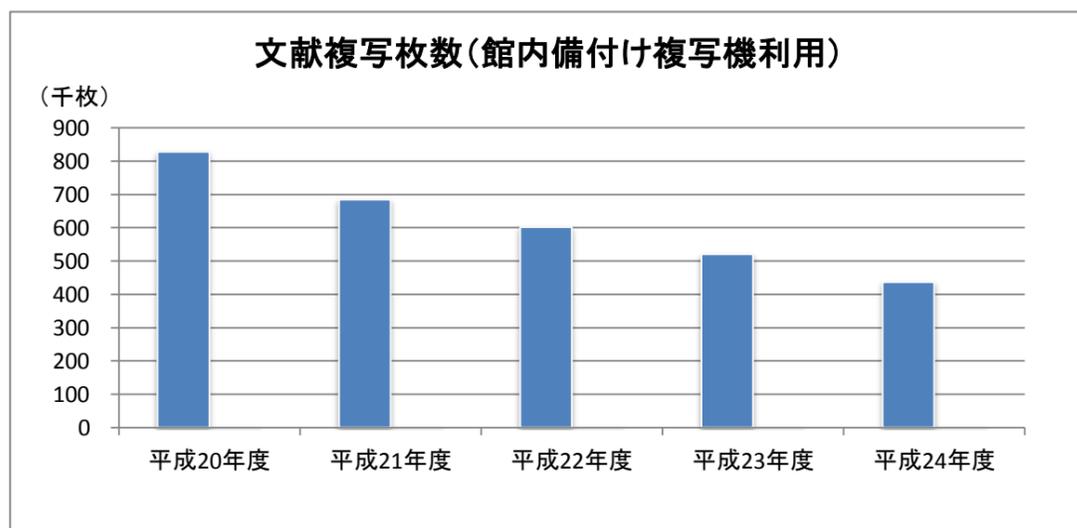


備考
H24年度の複写依頼件数の増加は、申込者の費用負担を軽減するサービスの試行によるもの。



○ 館内資料の文献複写利用(中央図書館)

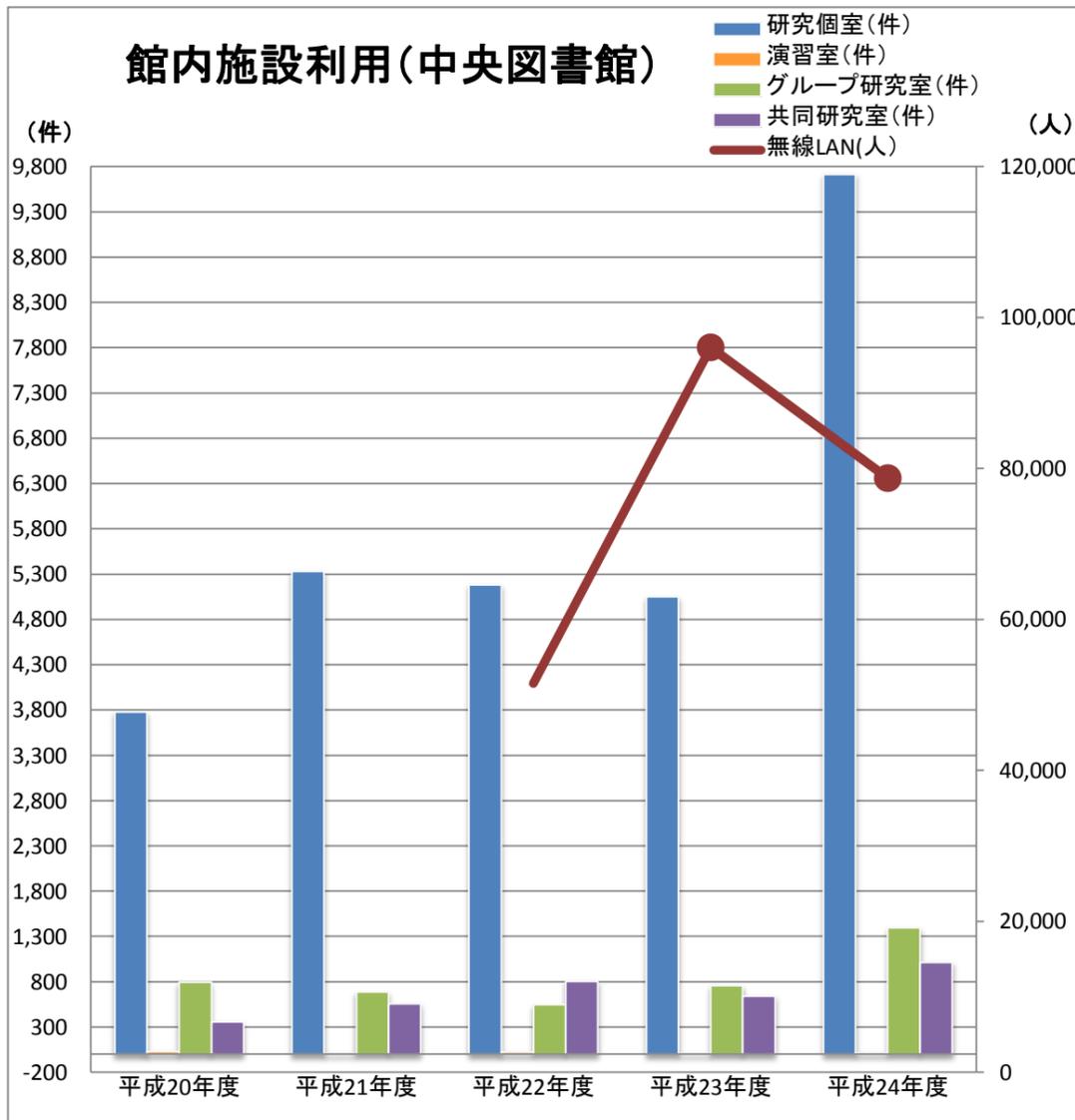
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
文献複写枚数(館内 備付け複写機利用)	827,577	684,035	602,051	521,076	436,614
コピーデリバリー・ サービス(件)	156	111	97	83	81



備考
 コピーデリバリー・サービス(複写物による学内相互利用業務)の減少は、電子ジャーナルの普及が大きいほか、学術機関リポジトリの効果も要因と考えられる。

○ 館内施設利用(中央図書館)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
研究個室(件)	3,780	5,331	5,183	5,049	9,715
演習室(件)	29	7	23	7	17
グループ研究室(件)	792	689	546	758	1,395
共同研究室(件)	356	557	804	638	1,013
無線LAN(人)			51,537	96,046	78,717



備考

研究個室の利用増加は、20年8月から試行を開始した学部生の利用も要因と考えられる。

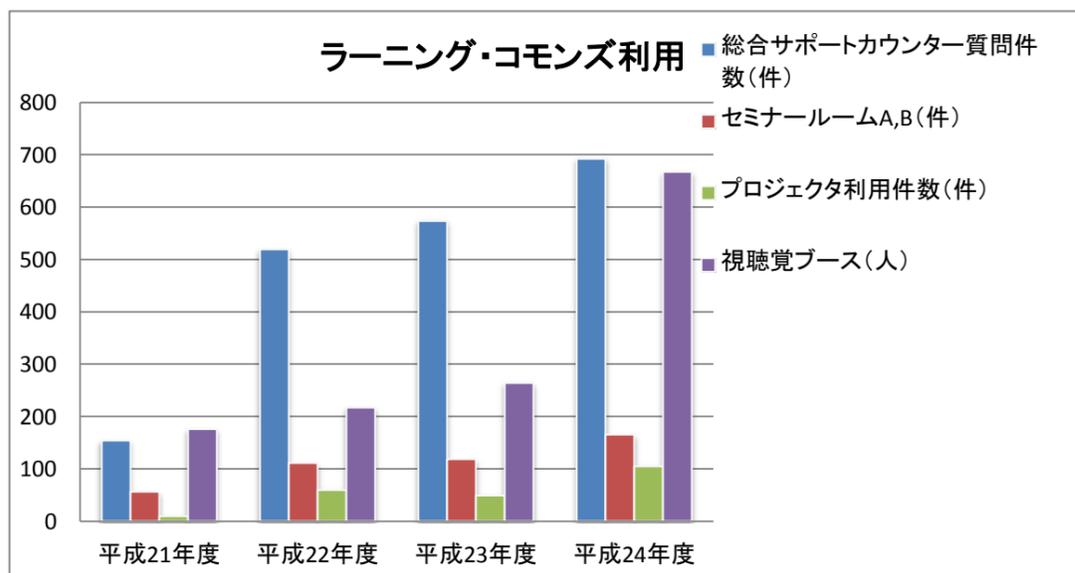
平成24年度の延利用件数は、4F演習室:297人、グループ研究室:9,559人

平成24年度の研究個室・共同研究室の利用増加は自動鍵貸出装置で鍵の貸出を開始したことが要因と考えられる。

H24年度の無線LANの利用者数には同年度に開始した新認証システムでの利用者数が含まれていない。
(次年度からの統計には含まれる予定)

○ ラーニング・commons

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総合サポートカウンター質問件数(件)	154	519	573	692
PC利用者数(人)	-	108,247	96,736	85,419
セミナールームA,B	56	111	118	165
プロジェクタ利用件数(件)	9	59	49	105
視聴覚ブース(人)	176	217	264	667



備考

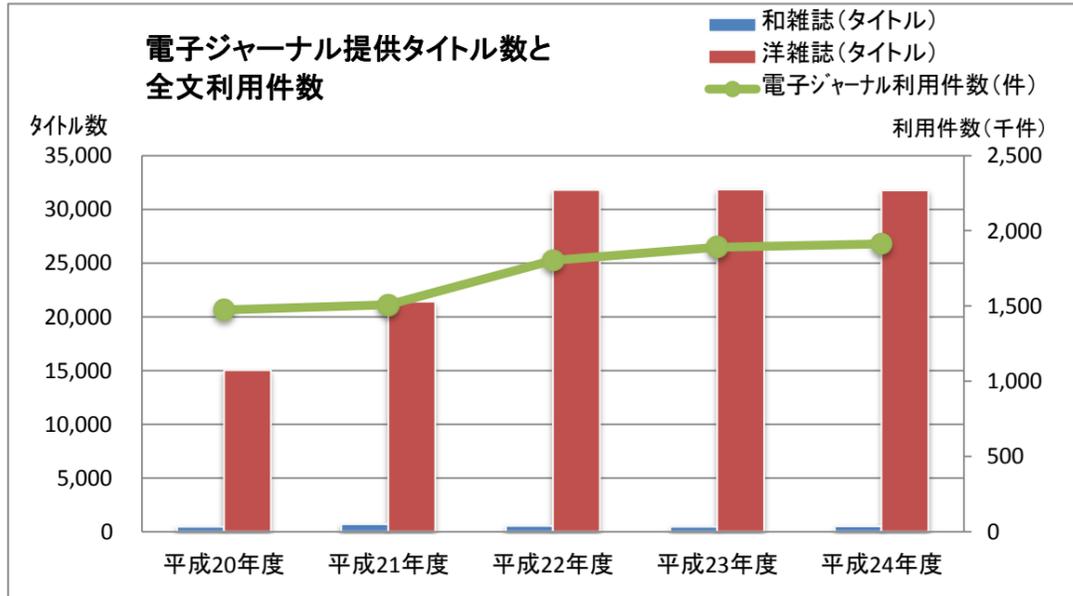
ラーニング・commonsは平成21年12月に全面オープンのため、平成21年度は、セミナールームB、視聴覚ブース以外は12月～3月の件数。

平成24年度の視聴覚ブースの利用増加は自動鍵貸出装置で鍵の貸出を開始したことが要因と考えられる。

セミナールームA:H24:83件
セミナールームB:H24:82件

○ 電子図書館サービス

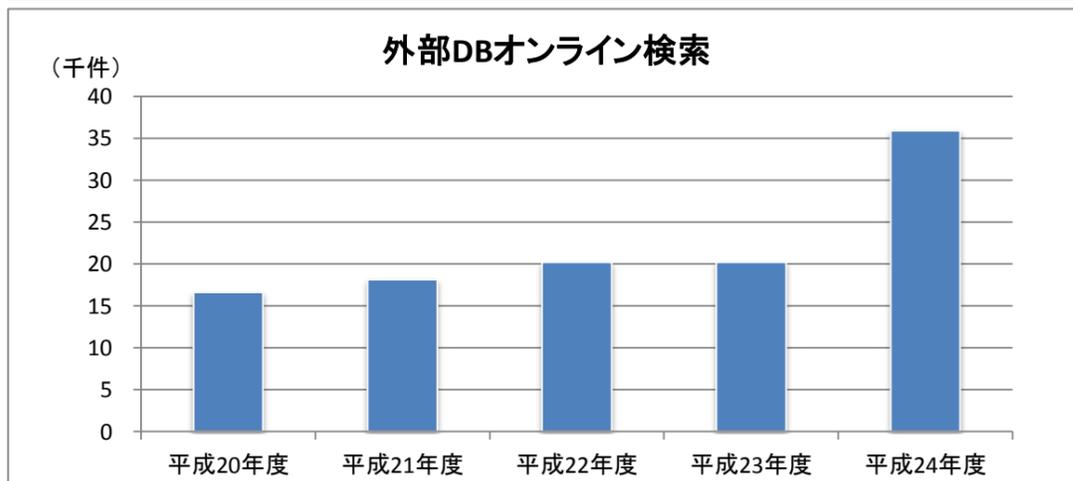
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
和雑誌(タイトル)	458	681	548	448	504
洋雑誌(タイトル)	15,024	21,391	31,801	31,843	31,776
電子ジャーナル利用件数(件)	1,474,041	1,506,395	1,803,286	1,891,359	1,913,851
オンライン検索(件)	166,051	181,265	201,837	201,891	359,155
OPACアクセス件数(件)	1,756,207	1,655,805	1,363,331	1,466,221	1,813,990
図書館HPアクセス件数(件)	7,502,895	7,104,158	7,107,204	10,640,723	14,432,698



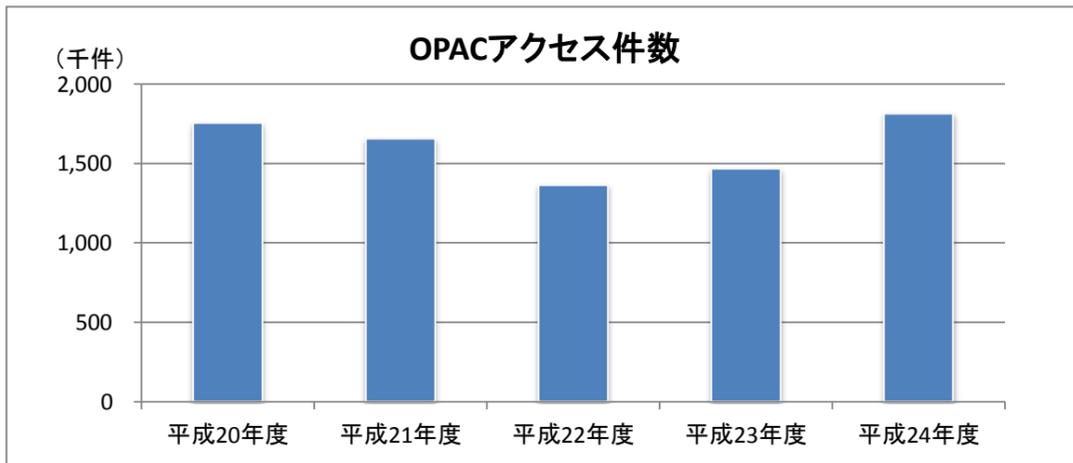
備考

全文利用件数
 ScienceDirect 728,204件
 ACS 257,904件
 WileyOnlineLibrary 248,905件
 Nature 156,338件
 SpringerLINK 113,534件
 OUP 39,723件
 など

平成22年度の洋雑誌の増加は、Academic Search Premierへのサービス切替、ProQuest Centralのタイトル数更正によるタイトル増などによる。
 平成21年度の洋雑誌の増加は、ProQuest Centralへのサービス切替に伴うタイトル増などによる。



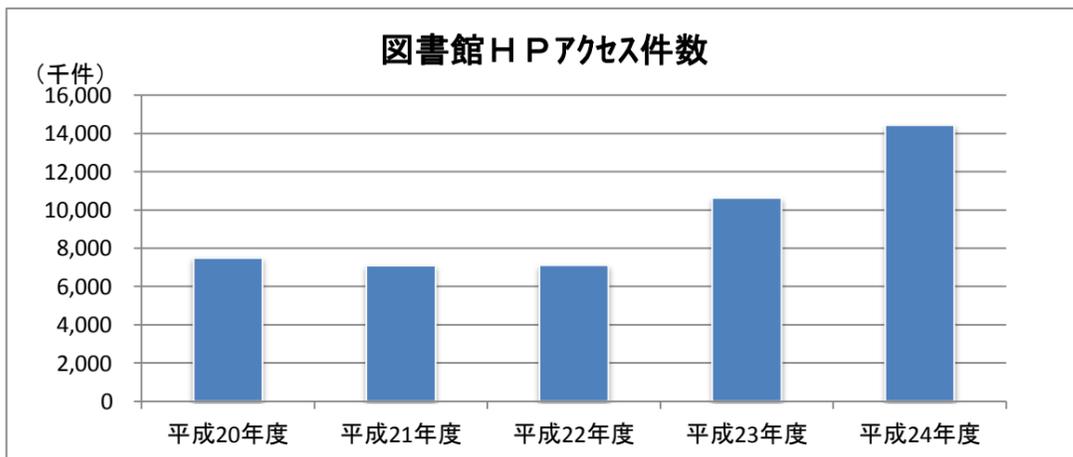
平成24年度の増加は、取得する数値を検索数に変更したことによる。



備考

平成22年度のOPACのアクセス件数の減少の原因は、クローラ等からのアクセスと思われるものを入念に確認し、排除したことによると考えられる。

平成20～21年度のOPACアクセス件数の減少原因としては、(1) 電子ジャーナルアクセスサービスが学外サイトだったこと、(2) 図書館HPへのクローラからのアクセスが減少したこと、によると考えられる。



備考

学内からのアクセス件数: 5,678,712件
 学外からのアクセス件数: 4,962,011件